

国内自動車メーカーの業績動向

2024年度上期実績と通期見通し

主要国内自動車メーカー5社の2024年度上期業績は、スバルを除く4社が営業減益となり、販売台数もマツダを除く4社が前年を下回るなど、総じて弱含んでいます（図表1）。

こうした状況を踏まえて、通期見通しを下方修正したメーカーも多く、全社が増収増益を達成し過去最高水準となった2023年度とは様相が異なっています。

図表1 主要自動車メーカーの2024年度業績（上期実績と通期見通し）

（億円、千台、%）

メーカー	上期（4～9月）実績						通期見通し					
	売上高		営業利益		販売台数		売上高		営業利益		販売台数	
	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	前年 同期比	
トヨタ	232,823	5.9	24,641	▲3.7	5,373	▲4.0	460,000	2.0	43,000	▲19.7	10,850	▲2.2
ホンダ	71,304	12.3	2,579	▲14.4	1,779	▲8.0	210,000	2.8	14,200	2.8	3,800	▲7.5
日産	59,842	▲1.3	329	▲90.2	1,596	▲1.6	127,000	0.1	1,500	▲73.6	3,400	▲1.2
マツダ	23,939	3.3	1,030	▲20.5	630	2.1	50,000	3.6	2,000	▲20.2	1,350	8.8
スバル	22,661	2.4	2,220	19.4	450	▲4.3	47,200	0.4	4,000	▲14.6	未公表	

（注1）ホンダの上期実績の売上高・営業利益は二輪を除く、通期見通しは二輪を含む

（注2）赤色の網かけは期初の見通しから下方修正、青色は上方修正

（資料）各社決算資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

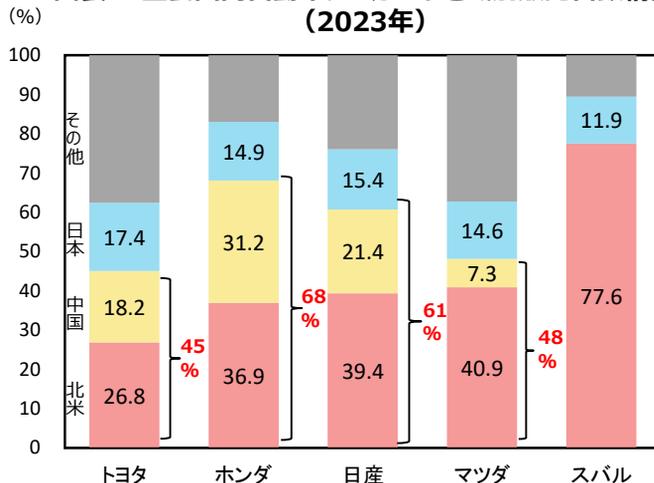
対応が迫られる北米・中国市場

その要因としては、①一部企業での不正認証問題により生産が停滞したことに加え、②主に北米での競合激化を受けた販売奨励金の増加（コスト増）、③中国でのNEV（EV・PHVなどの新エネルギー車）普及進展の中での開発の遅れに伴う販売不振などが挙げられています。

国内自動車メーカーは北米および中国市場への依存度が非常に高くなっていますが（図表2）、この二大市場の変化に加えて、米国では2025年以降に関税政策等が変更されるとの見立てもあり、今後事業計画の修正を迫られる可能性もあります。

既に日産はグローバル生産能力を将来的に20%削減させる方針を打ち出していますが、他の国内自動車メーカーの海外市場への対応やそれに伴う関連企業への影響を注視していく必要があります。

図表2 主要国内自動車メーカーの地域別販売台数構成（2023年）



（注）北米は米国、カナダ、メキシコの3カ国

（資料）マークラインズ資料よりひろぎんHD経済産業調査部作成

- ◆ 本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、何らかの行動を勧誘するものではありません。
- ◆ 本資料は、信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、その正確性を保証するものではありません。また、本資料に記載された内容等は作成時点のものであり、今後予告なく修正、変更されることがあります。資料のご利用に関しては、お客さまご自身の責任において判断なされますよう、お願い申し上げます。
- ◆ 本資料に関連して生じた一切の損害については、責任を負いません。その他、専門的知識に係る問題については、必ず弁護士、税理士、公認会計士等の専門家にご相談のうえ、ご確認ください。
- ◆ 本資料の一部または全部を、当社の事前の了承なく複製または転送等を行うことを禁じます。
- ◆ 本件に関するご照会は、ひろぎんHD経済産業調査部 担当：土居（TEL082-247-4958）までお願いします。